

進路講演会開催。卒業後の君たちを待ち受けているものは？

6月26日のLHRの時間に、全校生徒を対象とした進路講演会が開かれました。株式会社リクルートホールディングスから講師をお招きして、大学や専門学校等へ進学する意味、就職することの大変さをお話いただきました。生徒諸君もいろいろ感じたようですね。感想の中から何点か紹介します。

- 「今回の進路講演会を通して、企業が求める人材はコミュニケーション能力が高い人や主体性・協調性が高い人なので積極的に物事に取り組んでいきたいと思いました。これまで、そしてこれからの生活が高校卒業後の進路に大きく関わってくると思うので、一つ一つを大切に活動していきたいと思います。」
- 「今まで進路についてあまり考えていなくて、なんとなく大学に行って何らかの職業に就ければいいかなとか、3年生になるまでに決めればいから、今はまだいいかなと考えていました。しかし、今回の講演会を聞いて、1年生だからといって楽観視して遊んでばかりではだめだと思いました。」
- 「進路は中途半端な気持ちで決めてはいけないこと、様々な分野について調べたうえで選んだ方がいいということをお話いただき、改めて進路選択の大切さを再確認することができて良かったと思います。」
- 「将来、自分がどのような仕事に就いているかを考え、そこへ向かって自分自身が何をすれば良いのかを常に考えていきたいです。興味を持ったことはすぐに調べたいと思います。」
- 「どんな進路を選んでも、コミュニケーション能力と協調性、生活態度の良さがとても重要だということを知ったのでこれからの学校生活の中で身につけていこうと思った。他にもたくさんのことを学んで、これからの学校生活で大切にしていきたいと考えた。」
- 「講師の方が、数学や物理が苦手だからということだけで高校時代に文系を選択してしまったことを後悔しているとおっしゃっていました。私も同じ考えで文系を志望しようと思っていましたが、後悔という言葉を知って、改めて考え直さないといけないなと思いました。」

ここで取り上げなかったコメントの中にも、「進路についてしっかり考えたい」とか、「学校生活を大切にしたい」など、これからの取り組みについて考えている内容が多数ありました。私自身思うところは、学校や会社を調べることは、とても容易になりました。ですが、そればかりに頼って、みんな同じ意見を持つようになってしまっているのではないかと感じます。もしかすると、本当の進路学習は、このような諸先輩がたの成功談・失敗談を傾聴し、まだ見ぬ世界にどうやって踏み出すのかを考えることなのかもしれません。

週末課題

教科	内容	提出期限
国語	常用漢字ダブルクリア 第15回4級⑦～第16回4級⑧ (P36～P39)	7/2(月) 登校時に提出
数学	進研模試解き直し (1)小問集合は全問、(2)以降は(1)、(2)を必ず取り組むこと	7/3(火) 登校時に提出
英語	Starting Over Unit 31～34 ※丸付けを忘れないように!!	7/2(月) 登校時に提出

来週の予定

- 2日(月)
- 3日(火) 野球大会壮行式、応援歌練習
- 4日(水) 中学生一日体験入学、応援歌練習
- 5日(木) 応援歌練習
- 6日(金) KIZUKI プロジェクト提出日、野球開会式【閉寮】
- 7日(土) 吹奏楽コンクール宮古地区大会
- 8日(日) 野球応援(盛岡:県営球場)【閉寮】
- 9日(月) 代休日(野球大会によって変更の場合もあります)

進路について学ぼう 第3回「短期大学・専門大学校とは？」

これまでの2回は4年制大学を中心に取り上げました。様々な学部や学科があり、よく調べなければいけないと感じた生徒も多かったのではないのでしょうか。

今回は、4年間の進学ではなく、2年ないし3年の学習で確かな学力や技術を学んで、就職することを主に考えている生徒が進学する、『短期大学』『専門大学校』についてお話しします。

①短期大学とは？

大学とは「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させること」を目的として開校されていますが、「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成すること」を目的として、履修期間を2年ないし3年とする大学を開校しても良いという法令があります。これを短期大学と呼んでいます。つまり、短期大学は大学の一種でありながら、特定の分野に特化して学んで資格取得や卒業認定を目指す学校なのです。

ちなみに、大学の一種ですので、短期大学を卒業したあとに、4年制大学の3年次に編入する生徒もいます。しかし、他の大学生に比べて幅広い教養を積んでいないことや自身が学んだ専門学に合致した大学でなければならないこと、さらに、高倍率の編入試験をクリアしなければならないことなど、編入は容易ではありません。

②専門大学校とは？

大学校については、注意が必要です。その理由は、『大学』を名乗るには様々な法令や整備が必要で、勝手に「○○大学」と名乗ると、罰則を受けますが、『大学校』についてはそれがありません。これがどれほど違うことなのかというと、大学は国が認めているので、何か不測の事態が起きて大学側の運営ができなくなり閉校したとき、今まで履修した単位や学位は保証され、他大学へ進学した際にその単位が認められます。

しかし、大学校は、設置した団体によっては、閉校したときに何も保証されないかもしれないのです。ですので、大学校への進学を選ぶ際は、

「運営の団体はどこなのか？」

「その団体は確かで、今後の運営が十分に期待できるのか？」

をよく調べましょう。

例えばですが、神奈川県に『防衛大学校』、埼玉県に『防衛医科大学校』があるのですが、これらは防衛省が設置した、認められた大学校です。他にも各省庁が設置している大学校がありますので、調べてみるといいでしょう。

また、岩手県では金ケ崎町に『岩手県立農業大学校』、矢巾町と奥州市水沢に『岩手県立産業技術短期大学校』があり、これらは岩手県が設置した大学校です。岩手県立農業大学校は、各道府県が設置している農業大学校のひとつで、農産から畜産、花き学を学べます。岩手県立産業技術短期大学校は、都道府県立職業能力開発短期大学校に分類され、「産技短」の呼称で知られています。東北地区には岩手県と山形県に設置されています。

他にも、市町村、株式会社、財団法人、職業訓練法人など、様々な団体が設置した大学校があります。自動車大学校なんていうところもあり、一部の男子には人気ですが、自動車大学校でも全国に無数に存在しますので、よく調べて選びましょう。

今回の内容もいかがでしたか？「進学は、大学だけが全てではない」とは言いますが、それ以外の学校が「大学」を名乗らないのは理由があるからです。「設置的に認められなかった。」「運営費が潤沢ではなく、小規模でしか運営することができない。」など様々です。中には、大学にも劣らない魅力溢れる学校もあることは確かです。ですが、それはその学校を十分に調べた上で判断してください。有名人や知り合いが通っているからとか、学費が安いからなどで判断してはダメですよ。